

### 3．ネット展開用リーフレットの開発

#### 3．1 コンセプト・特徴

携帯電話の普及に伴い、ネット社会における携帯電話の問題点がクローズアップされるようになってきた。そのため、携帯電話の問題点を扱ったWeb教材も開発され、充実してきた。しかし、携帯電話の問題点が多岐にわたるため、それらを効率よく網羅的にまとめられた教材はまだ少ないといえる。

そこで、本セミナー検討委員会ではこの携帯電話の問題点を効率よく網羅的に扱える教材の開発を行うこととした。その際、以下の点を教材開発のコンセプトとした。

- ・本セミナーや授業等の導入として扱えるものとする。時間として10分程度。
- ・ネット上にリーフレット形式で展開できるものとする。
- ・興味を持ちながら学べるように、自分で選択肢を選んでストーリーを作り上げていくゲーム形式にしていく。
- ・リーフレットは表裏の2枚構成にし、表面では具体的なトラブル場면을盛り込んだストーリーを展開させ、裏面では選んだ選択肢により、それぞれの結末の解説をしていく。
- ・ネット上の利用だけではなく、印刷媒体としても配布できるようにする。
- ・利用者のターゲットは主に小学校の高学年から中学生とする。

これらのコンセプトのもと、子ども達に主体的に学んでもらうため、「そのとき、キミならどうする!？」という自分で考えることを促すタイトルとした。また、「カキコ」などのように、普段できるだけ子ども達の間で使われている言葉を使い、より子どもの視点で読み進められるようにした。

#### 3．2 利用方法

リーフレットの表面では、携帯電話を所有したらまず何をするかを想定し、スタートの入口を「メール」「ゲーム」「プロフ」と3つ設けた。このようにして、子ども達は自分の興味関心のあるところからスタートできるようにした。

また、進めていく際、主人公を自分に置き換え、それぞれ場面ごとに2,3の選択肢の中から選びストーリーを展開していくようにした。そしてストーリーの最後に「A-1」へなどの指示があり、裏面へといく。

それぞれの場面の中で、「親子のネット社会の歩き方セミナー」のテキストに掲載されている問題事例と関わりのあるところでは、ページ数のふってあるアイコンをクリックすることによって、テキストに掲載されている関連カ所を表示できるようにした。

また、Webサイト上の「ネット社会の歩き方」にある教材と関連のある場面では、関連キーワードをクリックすることによって、「ネット社会の歩き方」にある関連カ所を表示できるようにした。

リーフレットの裏面では、それぞれのストーリーの結末を「ケータイ依存」「コミュニケーション」「責任とマナー」「ネット被害」の4つのカテゴリに分け、さらにそれぞれ良い選択ができ

たかを「グッドチョイス」と「バッドチョイス」とに分け、解説を加えた。解説は親しみやすい子どもレベルの口語調にした。また、高学年の小学生が読んでもわかるような平易な表現に心がけた。

ストーリー展開は携帯電話を所有したところから始まっているが、既に所有している場合でも十分に扱える内容となっている。

10分程度で終わるので、時間があれば裏面の解説を全て読ませることにより、携帯電話の問題点の大枠がつかめるようになっている。

また、このリーフレットは印刷媒体としても利用できるようにするため、カラーバージョン、白黒バージョンの2種類作成し、Web サイトからダウンロードできるようにした。ちなみに子ども達全員に配布するには白黒バージョンが適している。

学校で印刷して使用することを想定し、2種類作成した。 <http://www.cec.or.jp/CEC/>

### カラー版リーフレット



### 白黒版 印刷用リーフレット



< 付録 1 . ネット展開用リーフレット 参照 >